



土井 太陽 さん

PROFILE

七戸町出身。前職は、宮城県仙台市内の飲食店店長。その後、昨年11月にUターン。今年4月から現代美術館でコンシェルジュとして勤務。訪れた観光客らに周辺の観光スポットなどを案内するほか、Facebook、ツイッターでの情報発信、ワークショップなどの企画も行う。31歳。趣味は読書、おいしいもの食べ歩き。

一つ一つの出会いを大切に 美術館から十和田市の魅力を発信



今年4月から現代美術館の休憩スペースに設けられたインフォメーションコーナー。現代美術館を訪れたかたへ観光案内などを行う。県内外からさまざまな観光客が訪れ、毎日いろいろな場面に遭遇する。「日々、事件。楽しい」と、朗らかに話すのはコンシェルジュの一人である土井太陽さん。

土井さんは、地元での就職先を探していた中、コンシェルジュの募集を見つけた。人と話するのが好きで、さまざまな人と関わりたいと思い、希望した。

コンシェルジュの目的は、美術館の説明もさることながら、観光客にいかにして街中に足を運んでもらうかということ。美術館を訪れたかたに十和田市の魅力を伝える。行き方や公共機関の時刻表を調べ、丁寧に案内をする。

「自分の目で見ないと、良さをPRできない。それに、実際に働いている人を見ると自分の刺激にもなる」と、休みの日は自ら観光スポットに足を運んでいる。

「十和田市にはすごい人、面白い人、頑張っている人がいる。そういう人たちがたくさんいるから、観光スポットであり魅力になる。人々はこの街の魅力。観光

客にたくさん紹介したい」と、話す。

6月にはコンシェルジュチームで初のワークショップを開催した。官庁街通りの歩道などを紙とクレヨンで写し取り、柄を浮かび上がらせるものだ。「マンホールの柄は参加者に好評だった。何気ないところにもたくさん魅力があった」ワークショップを通して市民にも十和田市の魅力を伝える。

土井さんは人とのつながりを第一に考える。「観光客のかたが帰った後にお礼のメールをくれた。また十和田市に來たいと、言ってくれたのがうれしい。リピーターを増やしたい」と、話す。

話をする中で、その人を知り、どんなところに行きたいかを聞く。一緒になって、観光プランを提案するよう心掛けています。

「会話を大切にしたい。お客様に何を求められてもYES!と、要望に応えたい。そのためにも、さまざまな分野にわたって何事にもチャレンジしていきたい」と、意気込む。

「一期一会」一つ一つの出会いを大切に。土井さんはまさにそれを実践し、また来なくなる街・十和田市の魅力を発信する。

